

## 武蔵野市第四期基本構想・長期計画策定委員会（第20回）会議要録

日 時 平成16年6月8日（火） 午後7時～9時

場 所 武蔵野公会堂第1・2会議室

出席者 東原委員長・小木副委員長・鶴川委員・廣瀬委員  
増山委員・村田委員・古田土委員・永並委員  
企画政策室長・企画調整課長・財政課長ほか

### 1．開会

資料確認

### 2．議事

#### （1）計画案について

まちづくりの目標

【委員】「人間関係に適切に対応できる」という記述の中に内容的に含まれるかもしれないが、自分で自分を守るといった総合的能力についての記述を入れたいが。

【委員長】入れるのは、賛成だ。場所については、議論が必要だ。

優先施策

【委員】優先施策「子ども施策の推進」について、職業とか、世の中で役立つものと結びつけられる能力の開発など、それぞれの子どもが実践的な能力を伸ばしていくような視点が欠けているような気がする。

【委員長】具体的にはどういうことか。

【委員】具体的には、さまざまな子どもの長所を認める人間がいると良い。経験のある人が相談相手になるとか、能力開発の専門家がカウンセリングをやりながらフォローすることが、この時期に必要なと思う。

【委員長】委員の考えは能力開発というよりも、本来の子どもの広い可能性が開花しないまま成長しているということだ。だから、「子どもの持っている潜在的な可能性に配慮した教育をする」という主旨を、「『確かな学力』の向上」で入れてはどうか。

まちづくりの現状と課題

【委員長】行・財政の職員研修へ移動した記述では、若い人の発意の重視とか、市の職員が従来の行政の物さしでしか対応できていない部分があるので、この

点を改善しないと持続可能ではないという趣旨を言っている。

【委員】重要な指摘だ。

【事務局】現在、行財政改革検討委員会という会議を継続中なので、その中でもう少し具体的な形で生かしたい。

【委員長】この時期にこのことを述べるということは重要なことだ。

【委員】行・財政に関して、財政規律と会計制度の関係については盛り込んだ。盛り込めなかった点は、予算の改革だ。予算をつくるときに、成果目標とか、成果シートを作って行政評価をしていく。主要な予算については成果目標をつくることによって、達成状況を市民に説明し、アカウンタビリティを高める必要がある。

【委員長】委員の理念、方向づけとしてあげるなら、それは策定委員会の見識だ。例えば「市政の生産性」のところで、将来像という書き方にした方が良い。ただし、それは現実を見ながら段階を切っていくという位置づけだ。「施策の体系」が、その方向性に則っていれば、長期計画として整合性がとれる。

【委員】それで構わない。

【委員長】大きな課題は子育ての部分と子育て施策だ。計画案の優先施策・施策の体系などで出てくるが、かなりばらつきがある。2つ原因があり、討議要綱の際作成した文章を整理したため、統一がとれなくなったことと、委員の記述には「身体・言語・自然」という三つのテーマが全く入ってこないため。そこで、策定委員会として「身体・言語・自然」をはっきり認知したい。この三つのテーマは、それなりに根拠がある。つまり、市長は実体験を重視するというやり方で、セカンドスクールから始まって、国際交流等のことを行ってきた。こういう背景があるので、「身体・言語・自然」を改めて策定委員会として、武蔵野の子ども、子育て、あるいは教育の基本的な重点事項として取り上げるのは良いことだ。

【委員】「子ども施策のあり方」の中のファミリーフレンドリーというのは、大変良い構想だと思う。全児童施策と全人教育は似ているが。

【委員長】ここで言う、全児童対策というのは、すべての子どもたちに対して同質なサービスを提供するという趣旨だ。

【委員長】前回の調整計画はもう少し丁寧な文言が入っていて、例えば学童クラブやさまざまな児童施設によって、こういう子どもは利用できるが、こういう子どもは利用できないというルールがあり、結局子どもを排除している。そうでなく全児童で統一すべきだという考えがこれであり、それを踏襲している。

【委員】これは大変大事なことだが、この文章があると身障者問題等々も、ここで受けとめられるという気がする。

【委員長】全人教育での、キーワードは、子どもの内発性の重視だ。内発性とか、多様な可能性というものを育てていく教育は考え方として非常に重要だ。

【委員】障害のある人に対する教育をどう取り扱うかということは、非常に重要な問題がかかわってくるため、軽率に何でもできますとは言えない問題なので、一般的な視点の中で取り上げるのが限界だ。個々の子どもには個性があるから平等に見るべきだという範囲で書きたい。

【委員長】それでいいと思う。

【委員】さらに市の施策は公共的なものであるとか、教育も市民の多数の意見や平等な公的負担といった観点に由来するということを書いた。

【委員長】子どもの内発性を重視する。潜在的な可能性を広くとる。内なる自然を重んじる、という三題は子ども・教育担当委員にまとめていただきたい。

【委員】了解した。

財政計画

財政計画について説明を行った。

(2) 地区別市民ヒアリングについて

地区別市民ヒアリング日程について以下のとおり確認を行った

西部地区；7月22日(木) 19:00～21:00

武蔵野スイングホール 10階スカイホール

中央地区；7月23日(金) 19:00～21:00

市役所 8階802会議室

東部地区；7月24日(土) 18:30～20:30

武蔵野公会堂 2階第1・2会議室